

■中島中学校の実践

(1) 研究内容

基本的人権や「いのち」等をテーマとした講演会の実施、多様な社会奉仕体験活動の推進、国際交流の場を設定するなどして人権尊重の精神の涵養を図る。

(2) 学習活動を通して育てたい力

自他の価値を認め、豊かな人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度

- ・自他の想いや考えを大切にしながら人間関係を形成する力
- ・伝え合い分かり合うためのコミュニケーション力

(3) 実践の内容

【実践①】「韓国教育使節団の学校訪問、交流会（3年特別活動）」

○ねらい

- ・異文化の人々に差別や偏見をもたず公正、公平に接することの重要性を知る。

○学習内容

- ・他国の子どもたちと本校3年生とのスポーツ交流会、文化交流会を開催、縄跳びや折り紙、お茶会の文化活動を通して国際理解を図る。



韓国使節団とのスポーツ交流、文化交流と記念写真撮影

【実践②】「『人権の尊さや意義を理解する』～札幌市子どもの権利救済委員として活動をする弁護士による講演（全校道徳）」

○ねらい

- ・幸福追求のために個々の努力が必要であることを学習する。
- ・権利実現のために他者の権利を無視できないことを理解する。

○学習内容

- ・「ともに幸せに生きる」というテーマのもと、具体的事例を交えながら、人として平穏に生きること、他者とかかわりながら生きることの大切さを考える。

【実践③】「3 学年修学旅行における震災学習」

○ねらい

- ・震災被害にあった人々の想いや願いに触れること、現地の状況を実際に見たり人々の話を聞いたりすることを通して自他の命の大切さについて考える。

○学習内容

- ・修学旅行前に新聞で震災について調べる、道徳の時間にNHKスペシャル「私には、会ったことのない…」VTRの視聴による道徳などの事前学習。
- ・修学旅行で気仙沼に赴き震災の状況を見るとともに現地の人々の話しを聴く。また、事後の振り返り学習を通して自他の大切な生命について考える。



気仙沼での震災学習

【実践④】「命の大切さと健康のありがたみ」をテーマにした講演(地域の病院の看護師による)

○ねらい

- ・他者との関わりの中で豊かな感情を身につけ、生きる意味を見い出す。
- ・相互に理解し支え合う気持ちやその思いを伝え合う力を養う。

○学習内容

- ・看護の体験談から生命の尊さを感じ取り、命あるものを大切にする。
- ・自らの生命がかけがえのないものであること知り、自他の生命を尊重する。

【その他】

- 学校周辺の花植え活動
- 中島公園における彫塑や川の清掃活動
- 中央区防災訓練における要援護者避難支援訓練
- 子どものネット安全利用に向けた地域・保護者連携事業



全校道徳での講演会

(4) 成果と課題

① 成果

生徒が講演や活動を通して自他がかけがえのない存在であること、支え合う人間関係を築くことが自分の人生にとって大切であることを理解できた。

② 課題

道徳の時間の充実や対人関係調整力の育成に向けたプログラムの開発・実践など、人権感覚の醸成に向けた日常的な指導の充実を図ること。